

台湾新聞

TAIWAN NEWS ◆ 2015年10月1日号 東京発行 NO.222

発行元: 有限会社 台湾新聞社 〒171-0021 東京都豊島区西池袋4-19-4 TEL: 03-5917-0045 FAX: 03-5917-0686 http://www.taiwannews.jp E-mail: info@taiwannews.jp
 ■定期購読をご希望の方は台湾新聞社までお問い合わせ下さい。定価350円(税込) 定期購読12回: 3,500円(税込) / 24回: 7,000円(税込) ©郵便振替: 00140-4-594168

早売9,800円(往復) 好評発売中~!

ご予約は弊社HP、もしくはお近くの旅行会社まで

FROM	TO	機名	出発	到着	機材/運航日
成田MRT→桃園TPE	GE605	13:30	16:00	A330	毎日
成田MRT→桃園TPE	GE607	20:30	23:30		
桃園TPE→成田MRT	GE606	07:50	12:00		
桃園TPE→成田MRT	GE608	15:30	19:30		

台湾観光代表団170人来日で「もっと深い台湾観光を」PR



ツーリズムEXPO ジャパンに台湾パビリオン出展

台湾観光局はこのほど、東京ビッグサイトで行われた旅の祭典「ツーリズムEXPO ジャパン」(会期: 9月25日~27日)への台湾観光パビリオン出展に合わせ、同局の謝謂君局長率いる代表団が来日。パンフレットや紹介DVD、関連グッズなどを用い、フェイス・トゥ・フェイスでそれぞれの特色ある魅力を積極的に日本人に伝えるため、日本で様々な観光イベントを行うなどの台湾観光のPRに徹した。代表団は台湾各地の地方政府、ホテル・レジャー企業、旅行関係企業など約80機関170人。台北市、新北市、基隆市、桃園市、台中市、嘉義県、高雄市、宜蘭県、花蓮県など台湾各地からの参加者だった。

影絵の体験コーナーなどのバラエティに富んだ観光情報が多く見られた。来場者になぜ台湾ブースを訪れたか聞いてみると、「もともとハローキティが好きで、エバー空港のキャラクターに起用されていることから台湾にも興味を持ちました」、「台湾の歴史に興味があったので」、「台湾の色々な温泉に入りたい」、「パッケージが可愛いから台湾のグッズを集めている」など、千差万別な意見が聞けた。台湾の観光は、単なるチームではなく1つの旅行地として定着しており、表面的ではなくもっと深い部分が求められてきているのだろう。

嘉義県長と観光局長 日本市場を重要視

同団はツーリズムEXPO前日の24日、帝国ホテルにて日本の旅行業界の重鎮と旅行関連企業担当者らを招き、台湾観光商談会及び懇親会を行った。同会には台湾南部・嘉義県の張花冠県長も来場し、自らトップセールスを行った。

張県長は式典で嘉義県について詳しく説明したほか、インタビューの際は「近年日台往来旅客数は成長しているが、嘉義県は他の地域に比べてまだまだ観光客は少ないのが現状だ」と問題点を提示したうえで「嘉義県には八田ダムや映画『KANO』の舞台となった場所など、歴史やストーリーを持つ観光地が沢山あり、奥深い旅行をすることができる。今年の12月28日には国立故宫博物院の南部分館(以下:南院)もプレオープンするので、多くの日本人の方にぜひ来てほしい」と述べた。張県長によると、南院では最初の展示で国宝の

「翠玉白菜」と「肉形石」を交代に展示するという。

一方、謝局長は9月27日より木村拓哉出演の台湾観光CM放映を記念し、今年の11月から「一石二鳥 I Love Taiwan キャンペーン(仮題、以下:一石二鳥キャンペーン)」を行う事を発表。さらに今年の8月に行われた「台湾美食展」のチャンピオンチームを12月に日本に送り、旅行関係者らに向けた忘年会で同チームが作る伝統料理を振る舞うことも約束した。台湾観光協会東京事務所の江明清所長によると、一石二鳥キャンペーンでは期間中、台湾への航空券発券証明書を張ったハガキを台湾観光協会へ送ると、1日1人の航空券代が無料になるという(その他詳細は未定)。

なお、謝局長は今まで、台湾を訪れた記念すべき500万人目と800万人目の海外旅行者がいずれも日本人であったことを説明し、「今年はもうすぐ訪台海外旅客数が1000万人目を突破する。1000万人目の海外旅行者も日本人と願い、私の手から記念品を贈呈できればと思っている」と述べ、日本人訪台旅行者増加への期待を込めた。

TOPIC

日本語版

- 桃園市長訪日、桃園MRTの来年3月開通に「自信あり」 2面
- 千葉ロッテとLanigoが来年2月に石垣島で交流試合 6面

中国語版

- 京演債関心健康保険規定 1面
- 客委會首参加東京国際禮品展 好客迎賓家 5面
- 日本房屋投資状況 8面

WEBでもニュース記事が読めます

<http://blog.taiwannews.jp>

2015年度歓迎会承ります
南国料理で宴会プラン楽しく歓迎会!!

予約電話: (03)5215-2537

張花冠県長オスス☆! 嘉義県観光スポット

阿里山国家風景区

お茶のイメージが強い阿里山だが、2-3月頃は桜も満開に咲き誇り台湾一のお花見スポットとしても知られている。また、ヒノキの故郷とも呼ばれており、雄大な神木もある。阿里山森林鉄道は台風による被害で一部運行を停止していたが、今年12月25日に全区間の運行が再開する。



阿里山森林鉄道

木村拓哉出演、台湾観光CM放映スタート!



渋谷スクランブル交差点でも放映!

SMAPの木村拓哉さんが出演する台湾観光CM「I love Taiwan」が9月27日より放映開始となった。当日、60秒版の同CMが朝日テレビの「ペットの王国 ワンダランド」にて放送された後、有名観光地の渋谷スクランブル交差点及

び大阪道頓堀の大画面テレビに映し出され、道行く人々の注目を惹いた。また、若い女性が集まるファッションの祭典「東京ガールズコレクション」でも、会場の約3万人の来場者らに対し同CMをお披露目した。なお、3パターンある15秒版も10月から日本全国各テレビ局で放送予定だ。

同CMの内容は、木村さんが日本の日常生活の中で何か思い立ったかのように「Time for Taiwan」とつぶやき、その瞬間に台湾の景色に移り変わり、マンゴーかき氷と小籠包、台湾ウーロン茶を堪能するもの。映像の最後には「心も距離も近い台湾へ」の文字が映し出され、台湾への観光旅行を促している。撮影を行ったのは香港の映画監督、ジョン・ウー(吳宇森)監督。

日本からの訪台旅客数マイナス4.4%の原因と解決策

台湾観光局が24日に開催した台湾観光懇親会で謝謂君局長は、今年1月から8月までの、日本からの訪台旅客数が1,003,097人で前年に比べマイナス4.4%となっていることに言及。日本の円安なども関係し、台湾からの大勢の訪日旅客が日本-台湾路線の座席を占めていることが原因の1つだとした。また、同会には、現在の訪日海外旅客増加の基盤となった観光政策を提言し、アベノミクスの仕掛け人としても知られる衆議院の山本幸三議員も出席しており、謝局長は山本議員に訪台旅客数減少に対する改善策を求めた。

山本議員は1つの策として、アベノミクスを模範し金融緩和と政策に取り組み、

台湾の為替レートを下げることが提案した。さらに観光政策としては、「素晴らしい観光名所があるのに、それぞれが独自に営業しており、観光名所の連携システムが出来上がっていないことが大きな問題だ。また、日本人の凝り固まった台湾のイメージを払拭するべく、台湾には総統府のような歴史的な観光資源があることなどをPRしていくべき」との意見を述べた。

また、同じく出席したJTBのグループ本社グローバル事業本部国際部長の古澤徹氏は日本人訪台旅客数の減少について「台湾の人気のなくなったわけではない。アジアでは台湾がナンバー1の旅行先であることは確かだ。JTBはチャイ



台湾観光局の謝謂君局長

衆議院の山本幸三議員

ナエアラインさんとの連携の成果や、チャーター便利用などの工夫もあり、台湾への旅行客数を保っている。ほかの旅行者の方々も、リスクはあるが将来的にチャーター便を駆使してみるのはどうだろうか」と解決策を打ち出した。

プラスの力になる
台湾新聞

続けて読むから「台湾」が解る
台湾のとれたて情報を毎月お届け。

年間定期購読

毎月第1日曜日発行

お得01 送料無料でお届け!

お得02 1年契約で700円お得!

※12回発行で購読料3,500円(1部350円×12=4,200円)

～お申込みはかんたんです(住所・電話番号・お名前・契約月)～
お申込み窓口 (TEL03-5917-0045 FAX03-5917-0686) まで
メールでも受付中! (info@taiwannews.jp)

絶賛発売中!!

台湾あります

台湾美食

日本で堪能できる台湾料理のお店を厳選して掲載しました。

店頭で使えるおトクなクーポン付き

家庭で作れるかんたん台湾料理レシピ付き

Delicious Taiwan vol.2
日本で食べる!本場のおいしい台湾料理

お問い合わせ
台湾新聞社 台湾新聞編集部
03-5917-0045 info@taiwannews.jp

¥1,500+税

EVA AIR
A STAR ALLIANCE MEMBER

オンライン予約 好評発売中!

14日前のご購入で、台北行19,000円~

10月以降の運賃も、さらにお求めやすくなりました!

詳細・ご購入はこちら ▶ evaair.co.jp

日本語のFacebookを開始しました。各種キャンペーンや航空券のおトクな情報も掲載しています!
詳細はこちら: [facebook.com/evaairwayscorp.jp](https://www.facebook.com/evaairwayscorp.jp)



双十国慶節祝辞

台北駐日経済文化代表処 代表 沈 斯淳

10月10日は中華民国の建国を祝う双十国慶節記念日です。1911年の辛亥革命から数えて、今年は104回目の国慶節を迎えることとなりました。

中華民国(台湾)と日本は歴史的、地理的、文化的に非常に縁が深いことから、長きにわたり友好関係を維持し、さまざまな分野において、緊密な交流を推進しております。馬英九総統は2008年に就任以来、お互いの関係を「特別パートナーシップ」と位置づけ、全力で日本との各分野の交流を促進し、これまでに25項目の取決め及び覚書に調印したなど、著しい成果を挙げてきました。

10月10日は中華民国の建国を祝う双十国慶節記念日です。1911年の辛亥革命から数えて、今年は104回目の国慶節を迎えることとなりました。

中華民国(台湾)と日本は歴史的、地理的、文化的に非常に縁が深いことから、長きにわたり友好関係を維持し、さまざまな分野において、緊密な交流を推進しております。馬英九総統は2008年に就任以来、お互いの関係を「特別パートナーシップ」と位置づけ、全力で日本との各分野の交流を促進し、これまでに25項目の取決め及び覚書に調印したなど、著しい成果を挙げてきました。

約163万人でした。一方、台湾から日本への旅行者数は約297万人で、過去最高となり、訪日外国人数のうちでトップでした。今年5月に山形県で開催された「台日観光サミット・フォーラム」では、相互往来者数500万人を新たな目標とすることを共同発表しました。

強まる台日間の経済などの連携

台湾にとり日本は3番目、日本にとり台湾は4番目の貿易パートナーであり、経済的に極めて密接な関係にあります。また、台湾は日本企業のアジア太平洋サプライチェーンの重要な拠点となっています。双方は経済貿易関係の上で、相互補完性を有しており、東南アジアなどの第三国と連携して産業協力および市場開拓を進めることが、今後のお互いの経済および産業発展に大いに裨益するものと

確信しております。今後も引き続き台日間の「自由貿易協定」(FTA)、「経済連携協定」(EPA)や「二重課税回避協定」(DTA)の締結に向けて努力してまいりたいと思います。同時に、引き続き「環太平洋パートナーシップ協定」(TPP)や「東アジア地域包括的経済連携」(RCEP)などの地域経済統合への参加を日本とも連携しながら推進し、さらには経済だけでなく人道支援や防疫、防災などの面でも国際社会と積極的に協力し、アジアの平和と安定に貢献していく決意であります。

結びに、皆様のご健勝とご多幸を祈念し、台湾と日本の一層の友好と発展を願ひ、私の挨拶とさせていただきます。



台北駐日経済文化代表処 沈 斯淳代表

駐日代表処台湾文化センター開館

今年6月12日、東京・虎ノ門に台北駐日経済文化代表処台湾文化センターが開館し、台日間の文化交流の橋渡しとな

ますます増える台日間の往来

昨年、台日間の往来者数は460万人を突破し、日本から台湾への旅行者数は

桃園の鄭市長訪日、桃園 MRT の来年3月開通に「自信あり」



成田駅にて、来年3月の桃園 MRT に自信を示した鄭市長

建設中の桃園メトロ(MRT)空港線などの参考にした」と述べた。

鄭市長によると、同MRTは台北市、新北市、桃園市と3つの直轄市を通過し、22駅を設置しており、沿線には台湾最大の病院、野球場、アウトレットもある。台北駅から桃園空港までは最短35分で結ぶことが可能となり、台北市内から同空港へのアクセスが大幅に改善されるほか、桃園から台北への通勤にもかなり便利な路線になるという。また、これを機に桃園政府は台湾史上最大の都市計画も立てており、その経済効果は約7兆元(ニュー台湾ドル)を超える予想されている。

当初同MRTの開通は、今年末を予定していたが、先に発生した台湾を襲った台風13号の被害や事業用車の脱線事故などの影響で工事が遅れ、開通時期は来年3月の延期と見込まれている。鄭市長は、期限通り開通させる自信があるかとの記者からの質問に「自信はある」と力強く述べた。

日本各地で積極的な地方交流

なお、鄭市長は、成田市役所訪問では今年4月にオープンした成田空港第3ターミナルと建設が計画されている第3滑走路についても言及。「桃園市も第3滑走路建設に取り組んでいるが、地域住民からの反対意見もある」(鄭市長)とし、成田市の小泉一成市長に意見を求めた。小泉市長はこの問いに対し、騒音対策にしっかりと取り組むことをアドバイスした。さらに、鄭市長は同日夜にホテルニューオータニ幕張で行われた同訪問団と千葉県関係者らの晩餐会で、参加した千葉県の重鎮らに対し、桃園市の現在の取り組みなどを説明し、来年2月に桃園で開催されるランタンフェスティバルへの来場を呼び掛けるなど、熱心なPRを行った。

今回の訪日で行は千葉県視察のほか、東京では自民党の岸信夫衆議院議員との会談や国立新美術館の視察、埼玉県では首都圏外郭放水路などの視察も行った。その後、9日に沖縄にわたり、10日には沖縄県の翁長雄志県知事と面会。農業・スポーツ・観光関連イベントでの台湾-沖縄間の交流、台湾におけるモーター車整備等についての意見交換を行った。翁長知事は「台湾と沖縄は兄と弟のような関係だと思っている。今後も兄弟のような付き合いを続けていきたい」と今後の交流に期待を述べた。

今年1月に結党した台湾の新政党「時代力量」(=時代の力、New Power Party)の主要メンバーである林昶佐と洪慈庸は9月23日、在日台湾人団体に招致され京王プラザにて来日講演会を行った。来年2月に迫った次期総統選挙と同時に進められる立法院選挙にも擁立している2人は、日本在住の台湾人らに対し、同党の役割や未来の台湾への希望などを語った。

同党のメンバーは現在、弁護士や歌手など各界から集まった精鋭の6人。講演に招かれた2人のほか邱顯智、柯劭臻、馮光遠、黃國昌の4人が在籍する。台湾で2013年におきた洪仲丘事件に対する約25万人規模の抗議デモ「公民教育召集-仲丘に正義を」や、2014年3月に学生らが主体となって行った約70万人規模の抗議デモ「ひまわり学運」など、いずれも若者が主体となった政治的行動を受け、「政治に積極的に参加するようになった若者の声、国民の声を代弁できる政党」を目指し立ち上がった。

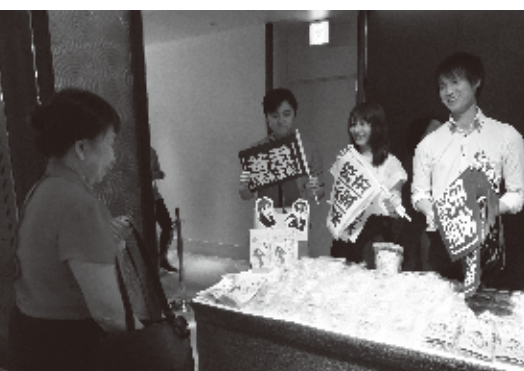
洪慈庸は、洪仲丘事件の被害者である故・洪仲丘の姉にあたる。政治に無頓着であった彼女は、同事件をきっかけに、同事件以外にも政府が解決してこなかった理不尽な事件が数多く存在することを知り、台湾の政治に向き合うようになった。

洪慈庸はまた、弟の事件とひまわり学運を振り返り、「これらの出来事により、多くの国民が今日目覚めなければならずということに気が付いた。昨年11月の九合一選挙で台北市長に当選した無所属の柯文哲も、『この2つの出来事がなければ私の当選もなかった』と言っていた」と説明し、「若者はここ数年でどんどん政治に目覚め始めている。私たちが求めているのは、若者の声を代弁し、若者の痛みがわかる政府である。今の政治家がそれを実行できないならば、私たちがそれにかわる働きをしていく」と同

台湾新政党「時代力量」主要メンバー2人が来日講演



「時代力量」の林昶佐(左)と洪慈庸(右)が来日講演を行った



台湾人留学生による時代力量のグッズ販売も行われた

今年1月に結党した台湾の新政党「時代力量」(=時代の力、New Power Party)の主要メンバーである林昶佐と洪慈庸は9月23日、在日台湾人団体に招致され京王プラザにて来日講演会を行った。来年2月に迫った次期総統選挙と同時に進められる立法院選挙にも擁立している2人は、日本在住の台湾人らに対し、同党の役割や未来の台湾への希望などを語った。

同党のメンバーは現在、弁護士や歌手など各界から集まった精鋭の6人。講演に招かれた2人のほか邱顯智、柯劭臻、馮光遠、黃國昌の4人が在籍する。台湾で2013年におきた洪仲丘事件に対する約25万人規模の抗議デモ「公民教育召集-仲丘に正義を」や、2014年3月に学生らが主体となって行った約70万人規模の抗議デモ「ひまわり学運」など、いずれも若者が主体となった政治的行動を受け、「政治に積極的に参加するようになった若者の声、国民の声を代弁できる政党」を目指し立ち上がった。

洪慈庸は、洪仲丘事件の被害者である故・洪仲丘の姉にあたる。政治に無頓着であった彼女は、同事件をきっかけに、同事件以外にも政府が解決してこなかった理不尽な事件が数多く存在することを知り、台湾の政治に向き合うようになった。

洪慈庸はまた、弟の事件とひまわり学運を振り返り、「これらの出来事により、多くの国民が今日目覚めなければならずということに気が付いた。昨年11月の九合一選挙で台北市長に当選した無所属の柯文哲も、『この2つの出来事がなければ私の当選もなかった』と言っていた」と説明し、「若者はここ数年でどんどん政治に目覚め始めている。私たちが求めているのは、若者の声を代弁し、若者の痛みがわかる政府である。今の政治家がそれを実行できないならば、私たちがそれにかわる働きをしていく」と同

党の役割を述べた。

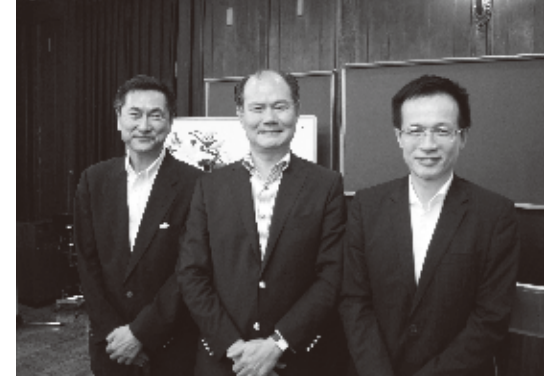
また、台湾ヘビーメタルバンド「ソニック(SONIC)・フレディ」としても知られている林昶佐は「近年の政府に対する一連の抗議活動は若い世代が行ってきたものだ。SNSを駆使したそのやりかたは10年、20年前とは大きく変動している」としたうえで、現在の政治は、討論だけに重きをおき、実際の行動に移さない状況であるという問題点を提示。「私たちは、3割は頭を使って考え、後の7割は行動に移す」と述べた。

また、先日日本でも安全保障関連法案に反対を訴えた若者らが抗議活動を行ったことについては、「台湾の若者によるデモ活動は国民に希望を与えた。しかし、台湾の若者は台湾のために努力してきたのではなく、自分たちの未来のために動いたのである。日本の内政については何も言えないが、日本の若者も、自分の未来のために自分のことを決めていかなければならない」とした。

林昶佐は来年の立法院選挙で台北市第5選区に、洪慈庸は台中市第3選区で出馬するほか、同党の他のメンバー4人も困難な選区にあえて出馬し、台湾政治の革命に挑む。

横浜地区における日台の重鎮3氏が一度に講演

日台経済文化交流協会(上村直子会長)は9月4日、横浜市開港記念館にて講演会を開催した。講師は台北駐日経済文化代表処横浜分処の粘信士処長、台湾貿易センター東京事務所の呉俊澤所長、そして横浜企業支援財団(IDEC)の牧野孝一理事長の各界の重鎮3人が務めた。会場には同会のメンバーを主体に、日台の関係者や台湾経済などに関心を示す関係者ら約80人が集まった。



左から横浜企業支援財団(IDEC)の牧野孝一理事長、台北駐日経済文化代表処横浜分処の粘信士処長、台湾貿易センター東京事務所の呉俊澤所長

最初に講演した粘処長は、冒頭、今年が戦後70年である事に触れ、先日安倍内閣が発表した戦後70年の談話に対し、日本の政治学者・北岡信一氏が作成した提言書に、中華民国初代総統・蔣介石氏の「以德報怨(いとくほうえん=うらみに徳で向き合う)」演説について書かれていたと発言した。その蔣氏は、日本が敗戦後、天皇制度の維持、ソ連からの提案した分割制度に対する反対表明、そして戦後260万軍民の日本国内返還の提起、などを講演内容にしたと説明。さらに蔣氏は日本に賠償請求をしなかったと強調し、「日台の友好関係はこの時から始まった」と回顧した。

粘処長はこのほか、近年における台湾の国際関係発展及び台湾と中国の平和的発展、日台間の地方交流について、などを説明。日台間で結んだ覚書(MOU)について、現在58項目あり、そのうち25項目は台湾が馬英九政権発足後に締結されたもので、これまでの達成率は43%であると発表した。

一方呉所長も講演でMOU締結につい

て言及。呉所長によると、日台間では2011年に経済やビジネスのMOUが次々に締結し、様々な面での枠組みが出来たという。なかでも地震などの災害発生時を例に挙げ、「日台関係を見るたびに1999年の台湾中部大地震と2011年の東日本大震災が一つの要素になるが、地震などの災害の際に『日台民間投資取り決め』と『日台オープンスカイ協定』が役に立つ」とした。

また牧野理事長は、毎年開催している「国際企業人材育成センター(ITI)横浜研修」の概要を参加者に説明し、参加した企業関係者らに、同研修生受け入れを呼びかけた。同研修は台湾貿易センターが運営するITIがIDECを窓口として開催しており、ITI研修生は、日本企業での実務経験を通して日本のビジネス習慣や社会習慣、企業ルール、仕事の進め方や価値観、日本文化などを習得する。また、牧野理事長によるとIDEC事務局メンバーは今年の10月に訪台し、実際にITIを視察する予定。

用語解説 「洪仲丘事件」

徴兵により新竹県湖口郷陸軍六軍団甲542旅に伍長として所属していた故・洪仲丘が2013年8月、除隊直前に上官からの理不尽な処罰を受け、この世を去ったというもの。これを受け、真相究明・軍内改革などを訴える遺族や賛同者らが当局に対し、正義を求めた同抗議デモをおこした。主催団体の発表で約25万人もの国民が集結し、2014年春の「ひまわり学運」への流れを作ったとも言われている。

20年目の台湾商品商談会、さらなる規模拡大に期待

台湾の優れた商品を生産するメーカー企業と日本の業者の橋渡しとして、台湾貿易センターが執行してきた商談会が今年9月で20年目を迎えた。

同商談会は、毎年70社以上の台湾企業が一堂に集り、福岡、大阪、東京の各会場で商談会を行うもの。企業ごとにブースが用意され、日本のバイヤーや企業担当者らと対面して密な商談をすることが出来、多くの台湾メーカー企業の日本市場進出を手助けしてきた。また、近年の会場成約金額は、2012年が26億円、2013年は大きく数字が跳ね上がり63億円、2014年は60億円、そして今年が53億円となっており、日台の経済交流に多大な影響を与えていることが見て取れる。

台湾貿易センター東京事務所の呉俊澤所長は9月18日、東京のホテルオークラにて行われた同商談会にて、「台北駐日経済文化代表処経済組の張厚純組長からも、引き続き同商談会への支援を頂けることを確認した」とし、台湾政府も同商談会を重要視していることを強調。また、20年間の成果については「同商談会は歴史ある商談会であり、この20年間で信頼性とブランド性を築き上げてき

た。台湾企業が日本市場に進出する際に、同商談会を初めの一步にする企業も多い」とした。

● 近年最大規模の81社が参加 ●

20年目の節目となった本年度は、商品分野の拡大のため、従来のイベント名の「台湾生活用品及びパテント商品商談会」を「台湾エクセレント商品及びパテント商品商談会」に変更して開催。近年で最大規模の81社が参加し、参加企業の半数は同商談会初参加で市場拡大を目的とした中小企業だった。

商品分野としては、CANNAMAY LEATHER CRAFT FINE DESIGNの機能性とデザイン性に優れたバックチャームや、才易実業のキャンプ用蚊除けランプシェード、旭富創意生活のマイナスイオンを含むスリッパ、AHOKU ELECTRONIC COMPANYのWiFiで使用可能な監視カメラなど、富んだアイデア製品が揃った。

東青企業が製造するキャラクター靴下を視察した日本のバラエティグッズ販売企業のバイヤーは「現在は中国で商品を

生産しているが、中国は少し信頼性にかける。今日は台湾の企業がどのようなものを作るのか見に来たが、台湾の製品は品質が高く、強いこだわりがあるのを感じた。今後中国から台湾にシフトしたいと考えている」と話した。

このほど、所長に就任してから初めて同商談会を執行し、日台の業者らの商談を目的とした呉所長は、今後の目標として「台湾企業のさらなる日本進出のプラットホームになるべく、来年は100社の参加を目指し、良い商品を紹介していきたい」と述べ、意欲をみせた。



中国語で商談する日本の業者担当者も見受けられた

台湾国立政治大学と部局間協定の九州大学ビジネススクールがシンポジウム

台湾の名門と名高い国立政治大学ビジネススクールと部局間協定を結ぶため、九州大学ビジネススクールの村藤功教授が9月11日、国立政治大学を訪問した。さらに、同校の共催で「アジアの玄関口」という福岡の立地を見直し、福岡や九州の地域政策を考えるシンポジウムが同17日、福岡市で開かれ約200人が出席した。

少子高齢化と生産年齢人口減少に伴う地域経済縮小が危惧されるなか、活力ある地域を再生するためのイノベーション創出を探るのが狙いで、九州大学の丸野俊一学長が「グローバル社会において科学技術の進歩、社会システム変化の中で、『地域の活性化』を育むようなシステムが構成される必要がある」と挨拶した。九州大学ビジネススクールの取り組みが、今後、台湾国立政治大学のプロジェクトと深く関わることになる。

九州大学CSTIPS・永田晃也センター長は「多くの方に集まっていただき、テーマに対する関心の高さがうかがえる。日本では平成23年度から文部科学省によって科学技術イノベーション政策のための科学が推進されている。地域イノベーションを促進するための政策の役割と、イノベーションによる新たな事業価値の創造を追求する企業の経営課題を多角的に検討する必要がある」と提起した。

九州大学には多数の台湾人留学生がおり、台湾留学生会にも九州大学在学が

多数在籍している。パネル討議では、「地域創成の担い手となる起業家、イノベーターをいかに育成していくか」「地域間の連携をいかに構築していくか」をテーマにディスカッションが行われた。

国土交通省・官房審議官の館逸志氏は「アベノミクスと地方創生」というテーマで講演を行い、「日本は『脱工業化』における産業基盤をいかに作るかが重要になる。アメリカ、中国に挟まれ、中規模の国としてやっていくための課題を多く抱えている。その中で、地域再生、人口動態の変化への対応も課題となっている」と述べた。

福岡地域戦略推進協議会(FDC)の石丸修平事務局長は、「広域的経済圏において、地域の成長を目的として、『成長戦略策定』から『プロジェクト実施』まで一貫して行うための官民連携の推進体制を構築している。その中でFDCでは、福岡市の『水上公園』や『フード・エキスポ in 九州』『イノベーションスタジアム福岡』の創造にも関わり、地域の官民協同促進を軸としている」と話した。九州大学ビジネススクールのネットワークを活かし、人事交流や教育プログラムの締結などを加速させる方針だ。

福岡市は「水辺のまちづくり」を軸としたまちづくりを進めている。その中でFDCでは、福岡市の『水上公園』や『フード・エキスポ in 九州』『イノベーションスタジアム福岡』の創造にも関わり、地域の官民協同促進を軸としている」と話した。九州大学ビジネススクールのネットワークを活かし、人事交流や教育プログラムの締結などを加速させる方針だ。

九州大学には多数の台湾人留学生がおり、台湾留学生会にも九州大学在学が

台北で日本の現代書道を発信



東洋書人連合のメンバー22人からなる台湾訪問団は8月29日より9月1日まで、台北の国軍文藝活動中心藝術館にて書道の展示会「日本現代書台湾・台北展」を行い、同連合会員らの作品65点を展示した。

同連合は1982年の北京展を第1回とし、その後、毎年様々な国で日本現代書展を開催してきた。33回目にあたる今年には1999年の第18回展以来16年ぶり2度目となる台北での開催だった。

展示された作品は、文字を書かずに墨の固まりで美しさを表現したものや、漢字と日本独特の仮名を混ぜた近代詩文書など、現代の文化を書道にマッチさせたものが多くみられた。

台湾人来場者の中には「展示されているような書道の形は台湾ではなかなか見ることが出来ないで、今回はそれを楽しみに来ました」と話した人もおり、日本独自の現代書道を台湾の地に紹介する機会となっていた。

また、29日には台北市内で同連合の会員と台湾の書道家による懇親会が行われ、席書揮毫や意見交換を通して交流した。同会で訪問団長の世木田江山さんは「中華民国は書道の聖地であり、我々日本国にとりましては、大いなる先輩として今日も又、ご指導をいただけるものと楽しみにしております」と期待を述べた。

これに対し、出席した中華民国書学会の張炳煌会長は「台湾で発展している書道は伝統を大事に守っておりお年寄りから子供まで、昔から今でも正体漢字、正体刻字を使用しています。また、漢字書道、伝統書道、造型書道などありますが、どれも文字の意味を大切にしています」と台湾の書道について説明したほか、「最近では(書道の文化交流目的で)大陸へ行く方が多く、台湾に来てくださる機会が少なくなりました。今回、東洋書人連合の皆様が台湾に来てくださったことに感謝しています。これからも、お互いにもっと交流を深められたらと思います」と話し、同連合メンバーを歓迎した。

同連合事務総局の小山さんによると、来年の同展開催や今後の日台書道交流についてはまだ詳しく決まっていないものの、台湾側との会話の中で「今後、日台双方の作品を集めた展示会を開催したい」との意見もあったという。

なお、訪問団一行は会期中、台北の国立故宮博物院や高雄の蓮池潭などを観光し、台湾の文化への理解を深めた。

福岡で台湾語を学ぶ人の「台湾料理教室」

福岡市の関連施設の「あいれふ」で9月5日、「福岡の留学生から学ぶ外国語教室(台湾語)」の授業の一環として「台湾料理教室」が開かれた。参加した生徒は18人。女性13人男性5人の構成で、調理テーブルの広さの関係から班を4つ分け、各班それぞれが4種類の料理を作る試みだ。

4種類のメニューは蛋餅(ダンピン)、魯肉飯(ルーローハン)、番茄炒蛋(トマトと卵炒め)、珍珠奶茶(タピオカミルクティー)。生徒の中には、食べ慣れた人もいたが、一方で名前も味も知らない初心者も。必要な調味料や乾燥食品は2〜3日前に専門店や、また、肉や野菜は朝早くから開いている近所のスーパーで当日買い揃えた。お米は農家の生徒が持参した自家消費用の特上品を持ちこんだ。

材料の使い方や調理の手順を説明したのは、福岡大学の留学生で講師の陳勝仁さん。「普段は料理を作らないけれ

ど...」。少しおぼつかないところが笑みを誘う。そこを台湾に何度もグルメ旅行に出かけ、日ごろ台湾料理店を食べ歩いで舌が肥えている女性陣が手助けしてカバー。その後調理は順調に進み、出来上がった台湾料理を和気あいあいと皆で楽しんでいた。

参加メンバーは、今年5月から始まった「福岡よかトピア国際交流財団」主催の台湾語(びんなん語)教室の20代から70代までの生徒。生徒らは台湾の人と台湾語でコミュニケーションの修得を目指すのが目的に通っているという。

講師の陳勝仁さんは、台湾・屏東の出身で高雄の文藻外語学院で日本語を学び、兵役(海洋警察)を終えた後、2010年に来日。最初は東京や大阪で働いたが、2014年に福岡大学に入学し、現在商学部貿易学科で学んでいる。

東京都知事(1)第九七七一九号

未来を共に創造する

DAISANGEN 台湾人留学生・企業のサポートをいたします。 大家さん募集中!

株式会社 大三元 | 〒171-0021 東京都豊島区西池袋 4-19-4-201
TEL:03-5917-0727 FAX:03-5917-0047 E-mail:chien0621@gmail.com

簡単に効率のよい経理を支援します

大塚会計事務所

起業された方や、J-SaaS(サーズ)やパソコンで会計を始めるという方へ、毎日の経理処理や経理作業を簡単に効率よく進められるやり方をご支援いたします。

お気軽にご相談下さい

〒171-0022 東京都豊島区南池袋2-12-1 佐伯池袋ビル306
TEL: 03-3985-5730 FAX: 03-3985-5731

★山手線新大久保駅2分 ★総武線大久保駅1分

嘉南旅行社

東京都知事登録旅行業第3-4417号(社) 全国旅行業協会正会員

台北 ¥27,000(税別)	北京 ¥30,000(税別)	上海 ¥35,000(税別)
大連 ¥32,000(税別)	韓国 ¥27,000(税別)	越南 ¥32,000(税別)
香港 ¥30,000(税別)	曼谷 ¥32,000(税別)	新加坡 ¥32,000(税別)

●代辦中國、東南亞諸國簽證 ●世界各地便宜機票、酒店及團體旅遊
●來日團體的酒店、派車、導遊 ●電腦訂位、迅速、確實

※銀行匯款口座
精通國、臺、日語服務親切
三菱東京UFJ銀行練馬駅前支店(番)3678888(名義)嘉南観光(株)

營業時間: 週一~五 9:30~18:30 週六 9:30~13:00
TEL: 03-3366-3988 FAX: 03-3366-2989
地址: 〒169-0073 新宿区百人町2-20-1 第二岡田屋ビル401

大鑫産業株式会社

広めよう未来につながるリサイクル社会

大鑫産業株式会社は、不用品や廃棄物のリサイクルを専門とする会社です。

非鉄スクラップ 自動車部品 OA機器 基板 CPU貴金属

◎電子部品、パソコン関係などの在庫処分にお困りの方は、DAIKINにご相談ください。
◎生基板、トナーカートリッジを買取、リサイクルいたします。

DAIKIN TEL.0297-30-3308(代表) FAX.0297-30-3309
本社:〒306-0515茨城県坂東市菅掛6464 http://daikin34.com/index.html

Information エンタメ/イベント/日台交流

「正論」シネマサロンで「KANO～1931 海の向こうの甲子園～」上映

雑誌「正論」は10月24日、ニッショーホールにて『「正論」シネマサロン』と題し、映画上映会を開催する。第7回となる今年の同イベント上映作品は、2014年、台湾公開とともに空前の大ヒットを記録し、台湾映画史上初のアンコール公開を果たした「KANO～1931 海の向こうの甲子園～」が選ばれた。

「KANO～1931 海の向こうの甲子園～」上演と金美齢氏による講演会を開催

映画上映後には、「次代に伝えたい日台の歴史」という演題で有名評論家の金美齢氏による講演会も行われる。入場料は事前予約が1500円(税込)、当日券が2000円(税込)で、全席自由席となっている。鑑賞希望者は往復はがきに、返信用あて名欄も記入のうえ、〒100-8077(住所不要)産経新聞社正論調査室>まで郵送。また、メール<seironevent@sankei.co.jp>でも申し込み可能となっている。(10月9日必着、応募者多数の場合は抽選)

問い合わせ↓
産経新聞社正論調査室: 03-3243-8454
(平日・午前10時～午後6時)



「KANO～1931 海の向こうの甲子園～」上演と金美齢氏による講演会を開催

双十節イベントが東京と横浜で開催



2014年の横浜中華街双十節パレードの様子

中華民国の建国104年を祝し、中華民国留日東京華僑総会と中華民国留日東京同学会は10月4日、東京中華学校にて「中華民国104年双十節台湾フェスタ」を開催する。同イベントでは、台湾のご当地グルメの出店、催し物、豪華賞品抽選会などが行われるほか、先着500人にはお土産も用意されている。会場は9時、抽選会は15時からの予定。また、横浜中華街でも10月10日、「双十節(そうじゅうせつ)」の祝賀イベントが開催される。主催は横浜華僑各界慶祝雙十國慶大會委員会。同イベントは、横浜中華学院校庭にて民族芸能演技や双十節祝賀式典を行うほか、伝統芸能の踊りなどを披露しながら中華街を一周する双十節祝賀パレード、各店舗などを訪問してまわる獅子舞など、盛り沢山の内容となっており、まるで台湾にいるかのような気分が味わえる。

問い合わせ↓
横浜(横浜華僑総会): 045-681-2114
東京(中華民国留日東京華僑総会): 03-3541-7348

山形国際ドキュメンタリー映画祭で台湾作品を上映



「山形国際ドキュメンタリー映画祭2015」が10月8日～10月15日に山形市で開催される。同映画祭の関連プログラムとして、台湾の文化部と山形大学人文学部附属映像文化研究所は10月9日～11日、「映像は語る一ドキュメンタリーに見る現代台湾の光と影」を山形市の遊学館で開催する。同プログラムは、台湾ドキュメンタリーの興隆と広がり特集するもので、「あの頃、この時」、「雑業記」、「25歳、小学二年生」、「築巢人 A Rolling Stone」、「コーナーズ」、「無米楽」、「青春ララ隊」、「これぞ人生、これぞアミ族」、「酒祭の男たち」など11部のドキュメンタリー映画が上映される。また、楊力州、周美玲、劉芸后、マーヤウ・ビーホウなどの監督陣を招きトークイベントおよび映画史研究者らによるシンポジウムを開催する予定。

問い合わせ↓
山形国際ドキュメンタリー映画祭事務局:
023-666-4480

2015第11回 台日文化交流百年音楽会



台湾の財団法人国際沛思(PACE)文教基金会と日本台医人協会が主催する「2015第11回台日文化交流百年音楽会～台湾情・日本心」が11月15日に、東京・赤坂のサントリーホールとホテルニューオータニ宴会場にて開催される。サントリーホールのコンサートでは、日本から高橋啓三(バリトン)や安藤郁子(メゾソプラノ)、足立育子(ソプラノ)ら、台湾側からは洪千富(ヴァイオリン)、葉緑娜(ピアノ)、劉立仁(テノール)が出演するほか、チャイコフスキー国際音楽コンクール声楽1位獲得の佐藤美枝子や男性合唱団「翡翠」団員の樋口達哉らが特別ゲストとして出演する。こちらの開演は13時半、チケットは指定席が5000円、自由席が3000円。また、18時開演となるホテルニューオータニの公演では、榎戸二幸(日本生田流琴)や陳禹安(台湾伝統オペラ)が披露されるほか、駐日経済文化代表処の元駐日代表である許世楷氏の盧千恵夫人による台湾語の朗読なども行われる。会費は20000円。

問い合わせ↓
AKIYO-PLANNING(千葉章代):
090-8116-2061

台湾語で もっと臺灣

台湾では中国語の他に、台湾語も広く使用されています。台湾特産の言葉を覚えて台湾への理解を深めましょう!

気持ちを表す編

台湾語:ホアヒー	台湾語:ピーション
日本語:嬉しい	日本語:悲しい
中国語:ガオシン(高興)	中国語:パイシャン(悲傷)

台湾語:ホースン

日本語:楽しい

中国語:ハオワン(好玩)

*台湾語は地域により様々な言い回しがあります。同コーナーでは一般的によく使われる台湾語をカタカナで紹介しております。

Zainichi Taiwan Real Estate Association
在日台湾不動産協会 祝!「在日台湾不動産協会」成立

2015年12月10日に成立大会を開催します。皆様のご参加をお待ちしております。

日時:12月10日
会場:椿山荘
受付:17時
セミナー開始:17時半
パーティー開始:18時半

一入会歓迎

正会員(台湾出身者限定):

1. 理事(宅建業免許番号、或いは建築事務所番号をお持ちの方)
2. 法人会員(宅建業免許、或いは建築事務所番号をお持ちの方)

協力会員(国籍制限無し):

1. 一般会員:(個人・台湾人)日本の仲介業者に勤めている方、或いは仲介業者を紹介している方、或いは不動産関連業界の方
2. 事業会員:(個人事業非法人)例:家主、ビル管理人(台湾出身者或いは1/4以上の台湾血統を持つ方限定)
3. 協賛会員:(日本企業)建築不動産関連企業(日本個人)司法書士、行政書士、税理士、弁護士、保険代理業者等

問い合わせ→事務局:090-8566-0776(担当、たなおか)

自社賃貸物件 賃貸担当:田口090-6125-1763

新検見川 徒歩7分 賃料4万5千円
(ロイヤルハイツ検見川) 2LDK 35㎡ 敷金0ヶ月/礼金0ヶ月 管理費0円

町屋駿 徒歩13分 家賃17万円
(コーポアポロン 202号室) 3LDK 110.25㎡ 3路線3駅 利用可能

売買物件 売買担当 林:080-3441-0936 鍾:090-6163-5588

京成稲毛 徒歩11分 賃料3万5千円
(稲毛第二アパート) 1R 14.12㎡ 敷金0ヶ月/礼金0ヶ月 管理費0円

池袋駅 徒歩10分 4,800万円
(売ビル) 想定利回り7.0% 1LDK×3戸 3階建 16戸 土地49.23坪

SANTOMI CORPORATION 三富株式会社 東京都知事(1)第93275号
〒136-0071 東京都江東区亀戸9-6-19 TEL 03-5836-6561 FAX 03-5836-6536

あなたに最適な保険が見つかります!
“保険の相談” 無料出張いたします。

(株)リンクサポートグループ(本部)
全国規模展開の専門知識でコンサルティングができる生命保険代理店

14社の生命保険商品を駆使し、お客様のニーズにあったオーダーメイドの保険をお作りします

例えは... 東京海上日動あんしん生命の医療保険

頼れる1 健康なら払った保険料が戻ってくる“新しいカタチの医療保険”
新発売! 保険料が戻ってくる保険です!

頼れる2 一生の医療保険を加入時のお手頃な保険料で
メディカルkit R

頼れる3 入院の有無にかかわらず
入院の保障も手術の保障もしっかり!

※詳しい内容は(株)リンクサポートグループ(本部)へお問合せください

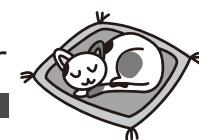
ご自宅・会社・店舗へ訪問してご相談し、最適な保険設計プランをお届けします。お電話、又はメールでご連絡ください。

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-8-3
丸の内トラストタワー本館20階
[担当] HOSAKA
[直通TEL] 090-4748-8335
[本部] TEL: 03-5288-5354
FAX: 03-5288-5359

Digest News

1ヶ月の出来事をダイジェストで振り返ります

September



Sep.1 東野圭吾の小説が台湾俳優により映画化決定

台湾の俳優アレック・スー(蘇有朋)により、人気ミステリー作家・東野圭吾氏の小説が映画化されることが判明した。台湾メディアによると、年末にもクランクインする予定。キャストインは未定だが、前作の「左耳」とは違い、知名度のある人気スターの起用を考えている。親交の深い役者仲間か

Sep.3 「台湾観光バス」に日本語の音声ガイドと無料WiFiが導入

台湾の交通部観光局が旅行者と提携し、個人旅行者向けに提供している旅行サービス「台湾観光バス」にこのほど、日本語、中国語、英語、韓国語による音声ガイドと無料WiFiが導入された。同局はサービスの向上によって旅行者に台湾の風土や人情をより身近に感じてもらうとしている。同局は2004年に同サービスの実施を

Sep.12 台湾高速鉄道の運賃、12月から値下げ

台湾交通の陳建宇部長は、台湾高速鉄道の運賃を12月1日から値下げすると発表した。台北-左営間の運賃1630元(約6100円)は1490元(約5500円)となり、

2007年の開業以来初の値下げとなった2013年10月以前の水準に戻る。値下げが行われる12月1日は苗栗、彰化、雲林3駅の開業も予定されている。※元=ニュー台湾ドル

Sep.15 外国人の消費税払い戻し、来年より新制度を執行

台湾財政部は、外国人旅客の台湾における営業税(日本の消費税に相当)の払い戻し制度について、2016年1月1日から新制度を施行すると発表した。業務を中華電信に移管し、システムを電子化する。空港や港などに電子システムの窓口を設け、現金のほか小切手やクレジットカードによる払い

戻しにも対応できるようにする。また、同日に同一店舗で購入した商品の免税対象額は、現行の3000元(約11137円)以上から2000元(約7425円)以上へ上限を引き下げる。また、購入した商品の持ち出し期限は現行の30日から90日に延長する。※元=ニュー台湾ドル

Sep.16 李登輝元総統新刊発表会に出席

李登輝元総統は台湾大学で開かれた中国語版「新・台湾の主張」の新刊発表会に出席した。李氏は会場で、「私は紛れもなく台湾人だ」と述べたうえで、自身は日本の教育を受け、良いところは学んだが、日本人に管理された

と日本統治時代を振り返った。李氏が執筆した同書は8月26日に出版された。川崎会長は、あいさつの中で、山形は「おしん」のふるさととしても知られているが、今後はさらに日台間の若い世代の交流にも力を入れ、修学旅行の受け入れや派遣などの交流を積極的に進めていきたいと述べた。

Sep.17 国立故宮博物院「南院」が年末プレ開業、翠玉白菜も登場

国立故宮博物院は、嘉義県で建設中の南部分院「南院」について内外の報道陣向けに記者会見した。馮明珠院長は、12月28日に南院をプレオープンさせ、国宝の「翠玉白菜」と「肉形石」を交代で展示すると発表した。また、プレオープン期間は完全予約制とし、10月30日からインターネット

で予約を受け付ける。なお12月28日午後2時から5時までと同29日から翌年6月30日までは、近隣の雲林県、嘉義県、台南市の地元の人が入場無料とする。それ以外の国内外からの入場者は12月29日から翌年3月31日までが無料となる。

Sep.18 パイナップルの輸出量が前年比3倍増

2015年1月~8月の台湾産パイナップルの輸出量は2万3492トンで、昨年同期の8051トンと比べ3倍増加し、今年の果物輸出量のトップとなった。台湾産パイナップルの品種は現在20種類あり、その中で生産面積および輸出量いずれも最大の品種が台農17号「金鑽」で、パイナップル輸出量全体の85%を占めている。この品種の食感や風味は海外産の品種とは異なっており、台湾産独特の特色がある。

Sep.19 日本の安保法案通過を台湾外交部が評価

台湾外交部の發言人である王珮玲氏は、日本の国会で通過した安全保障関連法案について、「日米安保体制は地域の平和と安定の基礎」とした上で、同法は「日本の国際的な安全保障への参与を増進すると同時に、日米同盟を

強固にし、深化するものだ」と評価した。また、「平和の理念を追求し続け、前向きな思考と積極的な態度で国際社会の平和と安定、繁栄を促進する上で、具体的な貢献をすることを期待する」ともコメントした。

Sep.21 台湾青春映画「我的少女時代」興行収入が約13億突破

1990年代を舞台に高校生男女の淡い恋愛模様をさわやかに描いた台湾映画「我的少女時代」の興行収入が3億7千万円(約13億4500万円)を突破した。台湾メディアの華視によると台湾映画としては歴代4位の記録となった。同作は人気ドラマ「ハートに命!100%」(命中注定我愛你)や「蘭陵王」などをプロデュースしてきた陳玉珊の初監督作品。主演は若手俳優の王大陸や宋芸桦務めている。※元=ニュー台湾ドル

Sep.21 台胞証のカード化について台湾が中国大陸に不満表明

中国大陸が、台湾との話し合いが不十分なまま「台湾居民来往大陸通行証(台湾同胞証、台胞証)」のカード化を本格的に開始した。台湾で対中政策を主管する行政院大陸委員会は、中国当局から施行日の通知がなかったとして不満の意を表明した。台湾の野党からも、「同じくカード式の身分証を採用している香港と台湾を同列視するもの

だ」と反発の声が上がった。台胞証は、台湾住民が中国大陸を訪問する際の旅券に相当する証明書で、これまで冊子形式だった。中国当局は6月、ビザに相当する書類の申請手続きの免除を発表。同時に台胞証自体もカード化する方針を発表していた。

Sep.24 台湾、ドローン規制厳重に

台湾政府は、小型無人機(ドローン)に関する条文を加えた民用航空法の改正案を行政院会議決定した。今後、同案が立法院を通過すれば、飛行高度の制限や重さ15キロ以上のドローンに対する登録制度などが設けられることになる。交通部の曾大仁政務次長によると、ドローンの使用は日中のみに限るほか、高度400フィートを越えて

はならないとしている。もし制限を超えて飛行させる場合には、主管機関への届け出が必要になる。また、重さ15キロ以上のドローンは交通部民用航空局の管轄となる。使用の目的を問わず登録が必要な上、使用者は免許を所持しなければならない。営利目的の場合には審査のほか、保険加入が必須となる。

Sep.25 プレミア12台湾代表、日本野球の台湾選手3人が出場

台湾メディアによると、中華民国野球協会の林宗成秘書長は、野球の国際大会「プレミア12」の台湾代表チームに、日本からのメンバーとして日本ハムの陽岱鋼選手、千葉ロッテマリーンズの陳冠宇選手、西武ライオンズの郭俊麟選手が参加可能であることを表

明したという。なお、台湾チームの監督は元西武ライオンズの郭泰源氏に決定している。プレミア12は、世界野球ソフトボール連盟(WBSC)世界野球ランキングの上位12カ国・地域が対象で、今年11月に台湾と日本で開かれる。

Sep.25 蔡英文主席の訪日に中国が反対

来年1月の台湾総統選に出馬する最大野党・民進党の蔡英文主席が10月上旬に訪日することについて、中国外務省の洪磊副報道局長は記者会見で、「重大な懸念と断固とした反対」を表

明した。洪副局長は日本に対し「一つの中国」原則を順守し、いかなる人にもいかなる口実でも「台湾独立」をまき散らす空間を与えないよう求めた。

Sep.26 第50回テレビ金鐘獎、受賞者発表

第50回テレビ金鐘獎の表彰式が台北國父紀念館で行われた。ドラマの主演男優賞には八大電視の「妹妹(僕のメヌエット)」の藍正龍が、主演女優賞は客家電視台「客家劇場-新丁花開」の朱芷莹がそれぞれ受賞した。また、総合番組賞は公共電視の「一字千金」を聯意製作「全球中文音響榜上」の黄子俊が獲得した。一方、ノミネート作品発表記者会の際には、審査員の藍祖蔚氏は「最近のバラエティ番組は品質が落ち、創意も不足し、知識もない」と批評。文化部影視局の張崇仁局長はこの状態から挽回するようにとの意見を述べていた。

Sep.26 習近平とオバマ大統領の会談、台湾の反応

米国のオバマ大統領は中国大陸の習近平国家主席と会談し、「台湾関係法」に言及した。これを受け、台湾外交部は米国の台湾の安全に対する約束を感念に守っていることの表れだとして感謝の意を表したほか、台湾政府は今後も米国の協力関係強化に努め、兩岸

(台湾と大陸)の平和を促進していくとした。オバマ氏は会談後の記者会見で、米国の「3つのコミュニケ(共同声明)」と「台湾関係法」を基礎とした「1つの中国」政策を遵守する立場を習氏に改めて伝えたと明かした。

台北駐日経済文化代表処・各分処 ~活動内容情報~

日本にある台湾の代表機関である台北駐日経済文化代表処では、在外邦人の保護、ビザの発給、貿易推進、学術・科学技術・文化・スポーツ交流など、大使館や総領事館並の業務を推進しています。ここでは代表処及び各分処の最新情報を毎月お届けしていきます。

駐日経済文化代表処

「やまがた女将会」が代表処を訪問、台湾との交流促進

「やまがた女将会」の川崎子会長をはじめとする「やまがた女将会」の女将6人と山形県観光物産協会の佐藤嘉高専務理事らは9月7日、台北駐日経済文化代表処を訪問し、沈沈淳代表が一行を歓迎。台湾と山形県とのますますの関係強化を期待した。沈代表は、今年5月に山形県で日台観光サミットが開催され、日台の年間往来者数500万人突破を目標として定めたことに関して、より多くの山形の人々に台湾を訪問してほしいと呼びかけた。また、日台ワーキングホリデー制度を利用して日本の旅館等で「おもてな



山形の女将らと面会した沈代表(左4)

駐大阪弁事処

台北市が京都府とスマートシティ分野で連携

台北市の林欽榮副市長一行は9月10日、京都府の山下晃正副知事を表敬訪問し、双方はエネルギー利用や交通体系などを効率化する都市「スマートシティ」の構築に向けて連携することを確認し、合意書を交わした。大阪弁事処の蔡明耀処長もこの場に立ち会った。今後、双方は情報通信技術を活用したまちづくりについて意見交換する場を設け、さらに民間企業も含めて省エネや交通インフラ整備、観光振興などの改善策を探り、共同プロジェクトの実施も検討するとして、林副市長は「地球温暖化や気候変動などの



合意書を交わす林副市長(左)と山下副知事(右)

駐福岡弁事処

台湾映画祭で台湾映画6作品上映

台湾の名作映画作品を上映する「台湾映画祭」が9月17日より22日まで、福岡アジア美術館で行われた。今回の出演作品は「コードネームは孫中山」、「狼が羊に恋をするとき」、「GF*BF」、「台湾アイデンティティー」、「恋人たちの食卓」、「光陰的故事」の6作品だった。また、初日に開催したオープニングセレモニーには、50人近い参加者が集まり、大の映画好きとしても知られる福岡分処の戎養俊処長も出席した。戎処長は「映画は生活に知識と豊かさを与える。九州や福岡の皆さんには映画祭



台湾映画祭で挨拶する戎処長

駐那覇分処

宜蘭県長と桃園市長が沖縄県を訪問

宜蘭県の林聰賢県長及び桃園市鄭文燦市長一行は9月9日、沖縄県を訪問した。同日の夜に那覇分処と琉球台湾商工協会が歓迎会を開いて一行を歓迎した。同処の蘇啓誠処長は挨拶で、近年における台湾と沖縄の観光、貿易、地方政府間交流の状況を説明したほか、「鄭市長と林県長の訪問は両国間の友好関係を促進させる」と感謝の意を表した。また、一行は翌10日、沖縄県の翁長雄志知事の表敬訪問も行った。鄭市長は物流産業などの視察のために、両市を同市に招待したいと話し、両市とのさらなる交流に期待を示



宜蘭県の林県長及び桃園市鄭市長一行が沖縄県を訪問

駐札幌分処

北海道大樹町と高雄市大樹区が友好交流協定を締結

北海道大樹町の酒森正人町長及び高雄市大樹区の黃傳股区長は9月20日、北海道大樹町内の「第40回柏林公園祭」会場にて、「北海道大樹町・高雄市大樹区友好交流協定締結式」を行った。立会人として出席した札幌分処の陳經宏処長は挨拶で、両地域の友好交流協定締結の祝辞を述べるとともに、北海道大樹町は2008年に高雄市大樹区との交流を開始し、2014年に設立した大樹町日台親善協会の、そして中華民国の窓口である札幌分処との連携の下で早期に両地域の友好交流協定締結に漕ぎ付けることが出来



締結式の様子

駐横浜分処

粘処長、伊勢原市訪問で青少年交流促進に期待

横浜分処の粘信士処長は9月17日、伊勢原市を訪問し同市の高山松太郎市長、越水清議長、教育委員会の鈴木教之教育長らと面会し、青少年交流などの議題で意見交換を行った。高山市長は面会時、伊勢原市女子バスケットボールチームの台湾遠征など、同処の両国青少年交流促進に対する熱心な体制に対し感謝の意を述べた。また、鈴木教育長は同市女子バスケットボールチームメンバーが台湾から戻った際に書いた感想文の中に、「球技を通じて異国の友達と知り合い、同時に国際的な視野が広がった」というものがあつた



粘処長(左1)は伊勢原市を訪問

※資料提供: 駐日経済文化代表処・各分処※

Facebook ページから始まった実話 ◆◆◆◆◆ 「ママは日本へ嫁に行っちゃダメというけれど。」が遂に映画化!



書籍「ママは日本へ嫁に行っちゃダメというけれど。」の映画化決定(提供:nafco)

25万の「いいね!」を取得している大人気Facebookページを書籍化した「ママは日本へ嫁に行っちゃダメというけれど。」(原題:雖然媽媽說我不可嫁去日本。)がこのほど、谷内田彰久監督のもと日台合作で映画化されることが決定した。来春、日本と台湾での公開に向けて現在制作中だ。主演は映画「新宿スワン」への出演などで知られる日本の演技派俳優・中野裕太と、「あの日を超えて(那年、雨不停國)」で金鐘獎主演女優賞にもノミネートされた台湾の女優・簡嫚書(ジエン・マンシュー)が務める。

のリンちゃんともギサンに連絡して制作を決めたという。リンちゃんともギサンは、映画の脚本作りや撮影にも出来る限り立ち会い、谷内田監督も2人に意見を求めながら、原作を基に撮影を進めている。

自分の物語が映画化することについてリンちゃんは「最初は自分達の生活が映画になることに自信がなかったのですが、撮影を見ていたらい映画になると確信しました。」

主演の2人は私たちにすごく似ています。同じく国際恋愛している人達やその両親たちに観てもらい、みんなが私たちみたいに幸せになってほしいです」と話す。

中野裕太と簡嫚書はこの映画が初対面。国も言葉も異なる2人はいったいどのようにコミュニケーションをとりラブなリンちゃんともギサンを演じたのだろうか。

なお、次号の台湾新聞で中野裕太さんと簡嫚書さんを独占インタビューして、2人の想いや撮影秘話を紹介する予定です。

Facebookのメッセージで知り合った、アニメとファッションと日本文化が大好きな普通の台湾人の女の子「リンちゃん」と、温かく優しくマイペースな日本人男性「もぎサン」。2人はやがて恋におち、ついに日台国際結婚までたどり着く。同書はそんな2人のなれ初めや、何気ない結婚生活の日常を、オシャレな写真とリンちゃんともギサンの奇想天外なコメントで紹介したものであり、2014年11月に日本で、2015年5月には台湾で発売され話題となった。

今回の映画化は、書店でたまたま同書を発見した谷内田監督が「これだっ!」と運命を感じたことから始まり、原作者



浅草寺にて。もぎサンを演じる中野裕太(左)と、リンちゃんを演じる簡嫚書(右)

台湾のジェラート店、東アジア地区大会で2位受賞



「NINAO Gelato Classico (蛇尾家)」

東アジアNo.1のジェラートを決定する大会「ジェラートワールドツアー東アジア」が9月4日より6日まで、駒沢オリンピック公園中央広場で開催され、台湾・台南から出場したジェラート店「NINAO Gelato Classico (蛇尾家)」が見事2位に輝いた。この栄誉で同店は、2017年にイタリアで行われる決勝戦への出場権を獲得した。

また、今大会の受賞の審査は、一般来場者の投票と出場選手同士による投票、ジェラートの味、構成、プレゼンテーションなどを基準に審査員が審査して選出したもの。同店が2位に選出された理由として、審査委員長の加藤信さん(協同組合全日本洋菓子工業会理事長)は「彼らは一般客からの支持がとても高かった。味はもちろん美味しいが、何と言ってもパフォーマンス(プレゼンテーション)が素晴らしい」と品評。主催者のアンドレア・コッキさん(カルピジャーニグループCEO)と今野正義さん(日本食糧新聞社代表取締役会長CEO)も同様に同店のパフォーマンス力が高く評価し、2位受賞に値すると祝福した。

同品を試食した一般の日本人来場者は「ライチの蜂蜜が珍しい。台湾の紅茶の味もまるやかで、とても美味しかった。台湾の材料を使っているのが素敵」とコメントし、台湾ならではの工夫が評価されている様子が見えた。

なお、同じく台湾から出場したYellow Lemonのイタリア人ジェラート職人のAndrea Bonaffiniさんは、パッションフルーツピューレーをかけたホワイトチョコレートジェラートを出品し、一般来場者投票特別賞を受賞。同時に期限内にどれだけ高くジェラートを積み上げるか競う「Stack it High」では見事優勝した。

同店が出品した品目は、台湾の阿里山で穫れる蜜香紅茶を混ぜ込んだジェラートに屏東市産の黒米ポン菓子とトッピングし、上から台湾産のライチ蜂蜜をかけた「La Dolce Vita di Te」。滑らかで優しい甘さのジェラートに、ポン菓子の食感、ライチ蜂蜜の香りをアクセントとした台湾独自の逸品だ。李さんによると、同品は同大会のために考案した商品で、まだ台南の本店でも販売していない新作だという。



NINAOのご近所料理屋の店長らがお店を休んでまで応援に駆けつけていた

東京都庁展望台で「台北友町」展示会開催



台湾式おみくじ「筮杯」を楽しむ来場者

台北市政府観光傳播局は9月22日より28日まで、東京都庁45階の南展望室にて「台北友町ー友達がいる台北町」(以下:台北友町)台北特別展を開催した。

台北市と東京都は、今年の7月より相互に観光PRを行っており、同展も東京都が無償で都庁展望台の会場を提供した。東京都はこのほか、都営地下鉄車内でのポスター掲示なども提供した。

一方、台北市は東京都に対し、台北MRT内でポスター掲示や東京紹介映像の放映などを無料でやっている。

展示内容は、台北市を東西南北の4エリアに分け、猫空のお茶や北投温泉の紹介のほか、フォトパネル、スタンプコーナーを設置。さらに、龍山寺、行天宮などの寺院紹介ブースでは、プレゼント付きの台湾式おみくじ「筮杯」体験コーナ

ーも設けられ、大人から子供まで楽しんでいる様子だった。来場者のなかには東京観光中の外国人の姿もあり、世界に向けた台北PRの場にもなっていた。

展示名の台北友町とは、同局が今年8月21日に立ち上げた日本人訪台観光客向けサイトのことを指す。友町は、Machi Machiと読み、「Machi」というのは台湾の言葉で「友達」を意味し、「Machi Machi」は大勢の友達がいる町という意味が込められている。

同サイトでは台北在住の台湾人という設定のキャラクター5人を案内人として登場させ、それぞれ台北観光を紹介している。例えばOL・恵はファッションや美容担当、阿部シェフはグルメ担当、ガイドさんはイベント・お土産担当など、幅広い年齢層に一步進んだ台北情報を提供できるように工夫されている。また、サイト内では第1弾イベントとして同サイトの台北旅行情報をSNSでシェアすると毎週抽選で10人に台北限定の記念グッズをプレゼントするイベント(11月8日まで)を開催しているほか、9月22日より第2弾の「松尾芭蕉の台北風景」俳句大会がスタートしている。同大

会は、同サイトで紹介された旅行情報をお題に俳句を作って投稿し、フェイスブック上で「いいね!」を最も多く獲得した作品の応募者に東京ー台北往復航空券をプレゼントするというもの(11月15日まで)。

同局観光発展科の李侑璇チーフは「台北市では今、日本人訪台旅客のリピーターを増やすべく努力している。台北のどこがどのように楽しいのか、もっと詳しく紹介し、何度でも来たいと思っただけの場所になるように、今後もこのプロジェクトを継続していく」と意欲を述べた。

なお、台北友町は9月25日から27日に開催されたツーリズムEXPOジャパン2015の台湾パビリオンにも出展した。



東京都庁で台北友町の展示会

千葉ロッテとLamigoが来年2月に石垣島で交流試合



同記者会見に出席した石垣市観光大使の夏川りみさん(中央)とLamigo girls(提供:Lamigo)

日本プロ野球チームの千葉ロッテマリーンズ(山室晋也社長)と台湾・桃園のプロ野球チームLamigo モンキーズ(劉珩廷社長)、そして沖縄県石垣市(中山義隆市長)は8月24日、台北市内のLamigo信義会館にて共同の記者会見を行い、来年開催の日台交流戦の日程を発表した。日程は2016年に行うロッテの春季キャンプ期間中の2月13、14の二日間。場所は石垣市中央運動公園野球場で「アジアゲートウェイ交流戦Power Series 2016in石垣島」として二試合行う。なお両チームは昨年、台湾・桃園国際棒球場で「桃園最強Power Series2014」戦で日台交流試合として対

戦しており、今回は2回目となる。山室社長は「昨年の台湾での交流戦は盛り上がった。今回もファンにとっても見応えのある試合になると思う」と述べ、さらに「現在石垣島で春のキャンプをしているのはロッテだけで、オープン戦前のウォーミングアップとなる練習試合相手が見つからない。今回は資金の問題もある。この問題については今後、石垣市ともよく話し合わなければならない」と問題点を指摘した。

一方劉社長は、9月3日から11日まで桃園市の鄭文燦市長とともに日本を訪れ、千葉県や東京都など各所で同交流試合の開催をアピールした。さらに同7日には千葉県内で開催された同訪問団歓迎会で再会した山室社長と劉社長は、すでに2017年の同交流試合についても話し合った。劉社長は「せっかく遠征して試合を行うのだから、2試合と言わず、もっと沢山試合すればファンも喜んで頂けるだろう」と希望を伝えた。これに対し山室社長は「試合回数を増やすに

は資金の問題もある。この問題については今後、石垣市ともよく話し合わなければならない」と問題点を指摘した。なお、同交流試合ではLamigoの応援ツアーも企画されるほか、来年2月13日には「石垣市新春花火大会」も開催が予定されているため、当日は多くの観光客が石垣島を訪れるとみられる。同記者会見に同席した石垣市観光大使で歌手の夏川りみさんは「台湾から石垣島までは飛行機でたったの50分です。皆さんに石垣島にお越しいただき、野球の試合を見つ、花火と美しい海を楽しんでいただきたいです」と石垣島の観光を誘致していた。



9月7日の歓迎会にて。左からLamigo モンキーズの劉珩廷社長、千葉ロッテマリナーズの山室晋也社長、桃園市の鄭文燦市長

東アジアサッカー大会で琉球代表が2連覇!

「2015第2回東アジア国際都市サッカー大会」が8月22日より24日まで、台湾・台中の国立台湾体育運動大学体育場にて開催され、昨年に続き日本の琉球代表が大会2連覇を達成した。

同大会は、台湾サッカー協会の「台湾にプロサッカーチームを創設しプロサッカーリーグを発足させたい」との思いから、台湾プロサッカーチーム誕生の土台として、年一度開催している。

昨年は中国・韓国・マカオ・日本・台湾の5つの国と地域が出場したが、今年は日程調整の問題などで日本からは琉球代表と台湾の国立台湾体育運動大学、台中市代表、南投県代表の4チームでの開催となった。琉球代表は沖縄の大学から13人(沖国大・名桜大・沖大)と社会人7人の計20人で構成され、監督は昨年と同じ宮城哲郎氏が務めた。宮城監督は選手としても出場するなどチーム一丸となって戦った。宮城監督は試合後、「これに勝てば連

覇達成という事もあり、立ち上がりから固が見られる部分もあったが、チーム全員この状況をものともせず辛抱強く頑張ってくれた。この国際大会で2連覇を成し遂げた選手たちを誇りに思う」とコメントした。

出場選手らは、試合前日に歓迎セレモニーで台湾料理を楽しみながら交流を行ったほか、試合後の話し合いを通じ、今後継続しての大会を行い各国や各チームのレベルアップを目指すことを誓い合った。

国立台湾体育運動大学競技運動学院の趙榮瑞院長も、「今後は昨年と同じ規模の5カ

国6チームの参加を目指し、台湾の選手らにさらに多くの経験を積ませたい」とし、台湾サッカーのレベルアップに期待を示した。



琉球代表が大会2連覇

台湾人百人百色

老兵・馬さんと「良い妻」

文:林 雅行(映画監督)

私の製作した、台湾の「栄民の家」で暮らす大陸生まれの退役軍人のドキュメンタリー映画「老兵挽歌」が来年1月9日から東京渋谷ユーロスペースで上映されることになった。

江蘇省生まれの馬如良さん(2011年取材当時80歳)は1948年に青年軍に入り台湾に赴任した。新兵だったので訓練も兼ねての台湾赴任だったという。大陸では国共内戦が続いていたが、国民党軍の敗走が始まった。内戦で敗走した国民党軍が大挙して台湾にやってきた。馬さんは、そのまま台湾に残ることとなったのである。大陸には両親と弟と3人の妹がいた。妹のうち2人については、ほとんど記憶がなかったという。「私は軍人だったが奇妙なことに戦った経験がない」という。国共内戦の時は戦場とならなかった台湾にいたからだ。1958年8月の金門島での砲戦にも参加せず、その後、小金門に配属となった。退役後は人の家を借りリフォームしホテルを経営したり、汽車の機関士をしたりしていたが65歳で定年になったという。「退職したからと言って一日中遊んでいただくもなし。なすすべもなく、とても落ち込んで悲観的になっていた。貯えもなく結婚するにも年をとっていた」。57歳の時、大陸に帰ったが、両親は亡くなり、弟と妹はいた。「もう2人の妹にお兄さんといわれても実感がわかなかった」。寂しかった馬さんに「栄民の家」の仲間が結婚を勧めた。淡々会う事にしたが「私は年をとっているお金もない」と率直に告白した。しかし彼女(中国の海南島生まれで子どもがいる)は「それでもいい」と言った。

「栄民」の中には形ばかりの結婚している人も多い。大陸からやってきた中国人女性が栄民相手に結婚を申し込み、老

兵たちの年金を管理する。夫の栄民は施設の中で暮らし、女性は市内のマンションに住み休日だけ訪ねてくるというものだ。形ばかりの年金目当ての結婚といえるが、栄民も孤老として生きるのではなく家族を持ちたいという思いがある。しかし、大陸の女性達からすれば「出稼ぎ」であり一種の偽装結婚が多い。金銭トラブルも発生し社会問題になっているが事件にならない限り政府も公認(?)しているという。

ただし、馬さんの場合はそうした問題のケースではないという(何と「栄民の家」のスタッフも「馬さんのケースは珍しい」というのだ)。

結婚した馬さんは「栄民の家」の近くのマンションに妻と住んでいる。妻との年の差は33もある。昼間、彼女は仕事に出ており、馬さんはその間、昔の仲間いる「栄民の家」に行きついで。そして夕方になると自宅に戻って妻と過ごすのである。馬さんの自宅には本がたくさんある。読書と習字が好きな馬さんは、いつも背筋をピンと立て礼儀正しく、話しているときと実直さが伝わってくる。日本風というなら古武士のようだ。

「(妻と)年齢差が大きいので私は彼女を守る感じで、彼女は私を先輩のように見てくれる。夫婦の関係に大した問題はない。大きいところで何かなければそれでいい。私には彼女を養う余裕はない。しかし、お金は少なくとも生きていける。大陸から来た人は沢山の人がみんな私の妻を『良い妻だ』といってくれる。私は面目を気にするので何事も言わなくてほしいと彼女にしている。自分で稼いだ金であれば賭け事もいい。でも浮気はいけない。その他の事は彼女に要求しない。妻は(私が)天国に行くまで傍にいたい」といっている。人生の最後の道のり



馬如良さん

も隣にいてくれるといっている」。

2人はいま新しい家を買おうと計画しているという。

「あなたの故郷は？」と訪ねると「私は63年も台湾にいる。どんなに長い時間だか。・・・私にとっては台湾も大陸も同じようなものです」。

「心の中の祖国とは中華人民共和国じゃないのですか？」

「中華民国でもなければ中華人民共和国でもない。一つの中国だと思います」。

「弟や妹のいる大陸には帰らないのですか？」

「帰らない。彼らはお金を欲しがらる。寂しそう顔の馬さん。でもすぐに「私には妻がいる」と笑顔に。複雑な思いが馬さんの心の中にはあるに違いない。帰らぬ、玄関で私たちが見えなくなるまで手をふってくれた馬さんだった。お幸せに。

台湾街角経済「つまみ食い」

EPISODE 9

日台交流は「オタク」と「地方」が新たなキーワード

毎年、台湾の夏は、日本との交流が活発になりますが、とくに今年の日台交流のキーワードは、「オタク」と「地方」ではないでしょうか？

まず「オタク」ですが、アニメ・コミックイベント「2015台中動・漫・力」が8月1日2日に台中市で開催され大盛況でした。また台北世界貿易センターでは8月6日から11日まで第16回漫画博覧会が開催され、初日8日は台風13号が台湾を直撃したのですが、ファンには台風などまったく問題とせず暴風雨の中4万人が来場しました。そして期間中でなんと参加者58万人を記録したのです。この来客数は驚きです。

さらに台湾セブンイレブンで知られる統一超商のマスクキャラクター「OPEN小将(オープンちゃん)」は、映画「OPEN! OPEN!」となって大人気です。また「それいけ! アンパンマン」の海外発の公式ショップ「麵包超人館」が台北・新光三越に開幕しました。さらに高雄メトロ(MRT)のオリジナル「萌え系」キャラクターが日本でも人気を集めています。これらは日台の「オタク文化」がベースとなっていることは明らかです。

もう一方のキーワードである「地方」では、桃園市の鄭文燦市長が9月7日に

千葉県印西市を訪問し桃園市をPRしました。また同日、新竹市教育処と徳島県教育委員会が、教育交流の協定書に調印しました。さらに翌日である8日には大分県職員らが台中市を訪問し自転車観光を体験するなど交流をしました。もともと大分県と台中市は観光の協力覚書の調印をしており、10月・11月には台中・大分間でチャーター便の運航が決まっているなど両国民の誘客を意図しています。そして9月11日に山口県の農水産などの加工食品イベントが台北で開催され大成功を収めています。

こうした日台の地方都市同士が協力を深めることは、ここ数年目立って来ています。これは主に観光客の誘致、そして物産の流通促進などを目的としています。そして日本側では国際化への第一歩として台湾の地方との関係強化を図り、アジア戦略へと発展させたいという意向が働いています。

さらに日本側としては、ロングステイや永住などの渡航先としてマレーシアやハワイなどが先行していますが、台湾は安全、安心、安価、そして温暖かつ至近である、としてバランスのとれた渡航先として台湾が注目されています。

さて「オタク」と「地方」は、全く異なるキーワードのように思われるでしょ

うが、日台の地方都市が、共通するマイナーな「何か」で結びつき、共にその市場の活性化を図ることが大切だと思います。その「何か」ですが、たとえばスポーツではマラソン、登山、サイクリング、サーフィンなど、産物であれば、本来はライバルであっても、酒、果物、農産物、加工品なども、地方都市で協力体制を構築して良いと思います。突飛に思えるかもしれませんが「喜多方ラーメン」と「台南担仔麵」であっても両国で注目されるでしょう。こうした「何か」でイベントなどの開催を日台両国の地方都市で協力し開催するのです。できればメジャーではない「何か」が良いでしょう。

またカルチャーやエンターテインメントでは、コンサートやライブ、展覧会や美術展、映画製作、テレビ番組制作などを、日台の地方都市が協力して開催・実施するのです。

両国の地方が協力し合うメリットは、たとえ小さくとも地方行事が国際行事になるということであり、当然、動員やPRなどにも好影響を与えます。

それに最も重要なことは、地方同士であれば意思決定が早いということです。日本の地方と台湾の地方であれば、一旦、協定を結べば企画がスムーズに進むはず

台湾近代化の功労者、花蓮開拓の父

第九回 賀田金三郎物語(賀田家の家系)

金三郎が富次郎のところへ身を寄せてからも、烏田氏は金三郎の事が心配で幾度となく彼を訪ねていた。金三郎はこの烏田氏の心遣いに改めて心から感謝するのであった。

烏田氏の気持ちに一日も早く応えるべく金三郎は、富次郎に彼が勤めている藤田組東京支店の久原庄三郎支店長に面会できるように依頼した。

しばらくして、金三郎は富次郎の取り計らいで藤田組東京支店長久原庄三郎と面会した。金三郎は自分の決意を久原氏に伝えた。久原氏は「東京において、志を成すということは容易なことではない。それよりも郷里に帰り、祖業を守ってほしい」と金三郎に百円を渡し故郷へ帰るように促した。しかし金三郎は「業成らずんば故郷に帰らない」と誓って故郷を後にした事を述べ、百円を押し返したのであった。

久原氏もこの金三郎の強い志を奪ってほしくないと思い、百円を収め、藤田組東京支店の一員として迎え入れる事を決めた。時は、明治18年4月の事であった。

この藤田組勤務がその後の金三郎の運命を大きく変えるものになることは、その時は誰も想像する事は出来なかった。また当時金三郎は弟の富次郎と一緒に、京橋の竹河原の小さな借家に住んでいたが元々富次郎が一人住まいのつもりで借りた借家だったが、金三郎との同居が決まり、手狭になったため八丁堀松屋に富次郎と共に移転した。その家を足げく通う一人の男がいた。富次郎とは10年来の親友であった金子圭三氏である。ここで、金三郎と金子圭三氏と運命の出会いをするのであった。この金子氏、その

後の金三郎の日本、台湾での活躍に無くてはならない重要な存在となるのであった。

金三郎の運命を大きく変える藤田組勤務と金子氏との出会い、この両方に弟の富次郎が関係していたという事だけは記憶に留めておいて頂きたい。

明治20年4月、大倉組と藤田組は共同出資を行い、2つの株式会社を創立した。一つは、陸海軍の軍需品用達を主業務とする内外用達会社、もう一つは土木の請負を主業務とする日本土木会社で、共に資本金は500万円の企業であった。

賀田兄弟は内外用達会社に、金子圭介氏は日本土木会社の社員となった。内外用達会社勤務になった金三郎は、萩での失敗を忘れるために、そして、船の中で多門達立って誓いを果たすべく、我武者羅に働いた。その働きぶりはいつしか上層部の耳にも入る様になった。そして、金三郎は、入社してわずか6か月後の10月には、伊予松山出張所主任(所長)として異例の昇格となった。

当時の松山は他の地域に比べ、最も運営が難しい地域と言われており、藤田組、大倉組の従来の主任は皆、2年で根を上げ交代となっていた。

その地への赴任を金三郎に命じた重役たちは、「賀田金三郎ならばやれる」という考えの元での決定であった。

金三郎はその重役たちの期待に事事に、手狭になったため八丁堀松屋に富次郎と共に移転した。その家を足げく通う一人の男がいた。富次郎とは10年来の親友であった金子圭三氏である。ここで、金三郎と金子圭三氏と運命の出会いをするのであった。この金子氏、その

台湾文壇の重鎮が送る、珠玉の家族エッセイ 父を見送る一家族、人生、台湾一



同書の原作「目送」は、著者の龍應台氏が香港の大学で教鞭をとっていた2007~2008年に、台湾三大紙のひとつ「中国時報」文化欄に連載され、ウェブ版を通じ台湾をはじめ中国、香港、東南アジアでも人気を博したエッセイと、2003年まで台北市文化局長として多忙を極めていた時期に見守った父の晩年を描いた連作エッセイからなる全74篇。2008年に発刊した初版は台湾だけで30万部以上を売上げ、簡体字版も初年度10万部突破。同年、誠品書店の文芸書年間売上1位、さらに香港誌「亜洲週刊」の「今年の10冊」にも選出され、博客来(台湾最大のネット書店)の年間売上総合ベスト10入りも果たした秀作でもある。

著者の龍應台氏は、執筆に授業に公務にと、台湾と香港を飛び回る多忙な毎日のなかでもさまざまな日常の出来事や、街で野合けた普通の人びと、代わり映えないテレビや新聞報道などから、核心的な価値をさりげなく取り出し、独特な切り口で思索を加

えている。そこには龍應台氏の長い欧米生活で磨かれた知性と台湾人特有の歴史観があり、また欧米社会・台湾社会への批評性がキラリと光る。どこにも属さぬ無国籍人のような視点に立つことで、身近な家族や友人たち、台湾人だけでなく、香港人や欧米人、その他アジア各地の人びとに共通する物語を見つけ出し、つなぎとめる。

龍應台氏は1974年、成功大学外国語学部を卒業し1982年、カンサス州立大学で英米文学博士号取得。1985年には「中国時報」紙上に掲載された評論が、戒厳令下の台湾社会で大きな反響を呼び、出版された「野火集」は台湾出版界空前のベストセラーとなった。1999~2003年は台北市文化局初代局長を務めている。その後、新竹清華大学教授や香港大学教授を歴任し2012年5月、初代文化部長(文化大臣)に就任。代表作に「台湾海峡一九四九」、「人在歐洲」、「面對大海的時候」などがある。

読者プレゼント企画

台湾新聞をご覧の皆様の中から抽選で3名様と同書「父を見送る一家族、人生、台湾一」をプレゼント致します!応募方法は、ハガキにこちらの切り抜きを貼り付け、お名前、ご住所、お電話番号及び台湾新聞へのご意見感想を明記のうえ、台湾新聞編集部までお送りください。当選のご連絡は発送をもって代えさせていただきます(10月中に発送予定)。

×切:10月15日(消印有効)

台湾新聞編集部

〒171-0021東京都豊島区西池袋4-19-4/tel:03-5917-0045

【休載のお知らせ】
連載中「More!More!台湾」は都合によりお休みします。

台湾新聞222期 読者プレゼント
応募券

つづく
(播磨 憲治)



台湾最高!



Taiwan 台湾観光局
THE HEART OF ASIA



m.taiwan.net.tw



go-taiwan.net



台湾観光情報やイベント情報配信中!

台湾観光協会 東京事務所 〒105-0003 東京都港区西新橋1-5-8 川手ビル3階 TEL.03-3501-3591 FAX.03-3501-3586
大阪事務所 〒530-0047 大阪市北区西天満4-14-3 リゾートトラスト御堂筋ビル6階 TEL.06-6316-7491 FAX.06-6316-7398